



議会だより



平成 26 年小矢部市消防出初め式

1月5日、小矢部市消防出初め式が行われ、消防団員や消防署職員による分列行進や津沢鳶はしご登り保存会によるはしご登りが披露されるとともに、クロスランドおやべ周辺では一斉放水が披露されました。今年1年の無火災を願うとともに、安心・安全なまちづくりの決意を新たにしました。

12月定例会の概要

12月6日から20日までの15日間を会期として開催しました。

初日は平成25年度小矢部市一般会計補正予算(第5号)など議案20件、最終日には議員提出議案1件と人事案件1件が上程され、計22議案を原案のとおり可決しました。

なお、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成24年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定7議案を認定しました。

また、請願2件と陳情3件の処理報告及び議員派遣の可決を行いました。

目次

概要	1
審議経過	2
人事案件	3
可決議案	4
意見書	5
代表・一般質問	6
請願・陳情の処理状況	7
傍聴のお知らせ	8
委員会報告	9
議長交際費	10
3月定例会の日程	11
市外行政視察	12
会務報告	13
編集後記	14

12月定例会の
審議経過

6日	本会議（提案理由説明） 全員協議会
9日	議案調査日
10日	議案調査日
11日	議案調査日
12日	議会運営委員会 全員協議会
16日	本会議（代表・一般質問） 民生文教常任委員会 産業建設常任委員会 総務常任委員会
17日	東部産業団地等特別委員会
18日	委員長会議
19日	議会運営委員会 全員協議会
20日	本会議（質疑・討論・表決）

人事案件

◎小矢部市教育委員会委員の任命
同意

佐々木 稲男 氏（西島）

12月定例会で可決された議案

(決算認定)

- 認定第1号 平成24年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
 認定第2号 平成24年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
 認定第3号 平成24年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
 認定第4号 平成24年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
 認定第5号 平成24年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
 認定第6号 平成24年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
 認定第7号 平成24年度小矢部市水道事業会計決算

(補正予算)

- 議案第56号 平成25年度小矢部市一般会計補正予算（第5号）

(条例の一部改正)

- 議案第57号 小矢部市ケーブルテレビネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 議案第58号 小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正について

(その他)

- 議案第59号 クロスランドおやべの指定管理者の指定について
 議案第60号 小矢部市老人生きがいセンターの指定管理者の指定について
 議案第61号 小矢部市高齢者健康交流センター（つざわランド）の指定管理者の指定について
 議案第62号 小矢部市高齢者健康交流センター（あらかわサロン）の指定管理者の指定について
 議案第63号 小矢部市サイクリングターミナルの指定管理者の指定について
 議案第64号 小矢部市久利須野外緑地広場の指定管理者の指定について
 議案第65号 俱利伽羅源平の郷殖生口の指定管理者の指定について
 議案第66号 小矢部市民プールの指定管理者の指定について
 議案第67号 小矢部市体育施設（小矢部ホッケー場・小矢部市野外運動広場）の指定管理者の指定について
 議案第68号 小矢部市体育施設（小矢部市立藪波スポーツセンター）の指定管理者の指定について
 議案第69号 小矢部市体育施設（小矢部市立水島スポーツセンター（多目的交流施設ふれあいドーム））の指定管理者の指定について
 議案第70号 小矢部市体育施設（小矢部市立北蟹谷スポーツセンター）の指定管理者の指定について
 議案第71号 小矢部市体育施設（小矢部市立屋内スポーツセンター・小矢部市武道館）の指定管理者の指定について
 議案第72号 小矢部運動公園体育施設の指定管理者の指定について
 議案第73号 高岡地区広域圏事務組合理約の変更について
 議案第74号 工事請負契約の変更について（大谷小学校校舎耐震補強及び大規模改造建築主体工事）
 議案第75号 工事請負契約の変更について（大谷小学校体育館耐震補強及び大規模改造工事）

(追加議案・議員提出)

- 議員提出議案第2号 米政策の見直しに関する意見書

(追加議案・人事案件)

- 同意第5号 小矢部市教育委員会委員の任命同意について

意見書（議員提出）

◎米政策の見直しに関する意見書

政府に対して、地方自治法第99条の規定に基づき、平成25年12月20日に意見書を提出しました。

米政策の見直しに関する意見書

米の需給状況については、去る11月に公表された「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、平成24/25年の需要実績は781万トンと、需要見通しよりも18万トン減少したことが示された。また、全国的に本年産米の作柄が良好であったことから、生産過剰による米価低迷が深刻化している。

このような中、政府は、農家自らが需要に応じた米生産ができるよう、5年後を目途に生産調整を廃止し、生産調整に参加した農家に対する直接支払交付金を段階的に削減・廃止する方針を打ち出した。農業の競争力を高め、成長産業とするためには、農家の自立的な経営判断を重視することが不可欠であるが、交付金を削減・廃止することにより需給バランスが崩れ、さらなる米価下落を招く懸念がある。

本市は、水田面積全体に占める米の作付面積が72.1%と高く、米を主体とした農業生産が行われている。そのため、さらなる米価下落は、営農システムの崩壊や耕作放棄地の増加、地域活力の低下等につながりかねず、今回の米政策の見直しは、あらゆる観点から十分に検討する必要がある。

よって、国会及び政府におかれましては、米政策の見直しにあたり、下記事項について配慮されるよう強く要望する。

記

1. 所得の減少や地域活力の低下につながることを防ぐよう、米価が下落した際の影響等について十分検討し、対策を講ずるとともに、その情報を関係機関や国民に開示すること。
2. 5年後を目途に生産調整を廃止する場合の移行期間においては、国が責任をもって、米の需給調整と価格の安定を図るとともに、転作作物としての米（加工用米や飼料用米など）や麦・大豆・ハトムギ等への助成充実により、地域の営農体制が維持されるよう配慮すること。
3. 移行期間後の生産数量目標の配分廃止の判断については、見直しを行った諸制度の評価や定着状況を検証するとともに、地方自治体や農業関係団体の意見を踏まえ、慎重に行うこと。
4. 中山間地域における国土保全や水源涵養などの多面的機能を維持するため、耕作放棄地対策や農村を活性化するために必要な政策を充実すること。
5. 農地中間管理機構や多面的機能支払（日本型直接支払制度）をはじめとする新制度の創設にあたっては、その制度内容を丁寧に説明し、周知を図るとともに、地方自治体や農家への過重な負担とならないよう十分に配慮すること。
6. TPP交渉については、農林水産分野の重要5品目など聖域の確保を最優先すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年12月20日

小矢部市議会議長 中村重樹

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
農林水産大臣
経済再生担当大臣
内閣官房長官

- ◎防災・災害対策と取組について
- ◎第六次総合計画後期実施計画の策定方針について
- ◎アウトレット進出に伴う今後の取組について
- ◎今後の小矢部型農業のあり方について

石田 誠流
義弘
議員



◎防災・災害対策と取組について
質問 大雨や集中豪雨により、JR高架下の道路（泉町・西福町付近）や市街地では冠水被害の発生が心配される。雨水処理に対する現状と対策はどのようになっていくのか。

でも、当番班の職員が迅速に参集し、対処するよう運用されている。災害情報の周知方法については、広報車やCATVによる広報のほか、現在進めている防災行政無線のデジタル化により、地域への伝達性がより高まるものと考えている。また、登録制の災害情報メール配信サービスも実施している。

◎アウトレット進出に伴う今後の取組について
質問 アウトレットパークへのアクセス道路の整備や国道八号の四車線化、俱利伽羅トンネルの改修整備、能越自動車道の料金所の廃止等について、国や県に働きかけ、実現させてほしい。当局の見解を伺う。

培管理に対する指導と強化の取組について伺う。
答弁 等級低下の原因は、猛暑による高温障害や土壌による影響が大きく関わっているものと考えている。そのため、適切な基肥施用や湛水管理に対する指導、「コシヒカリ」より高温に強いとされる「てんたかく」や「てんこもり」への移行を推進していきたい。また、品質向上のために重要とされる土づくりについては、「メルヘン米土づくり支援事業」により、引き続き支援するとともに、堆肥、発酵鶏糞の散布や緑肥作物の作付けを推進することにより、品質向上と収量の安定を図っていきたい。

答弁 石動市街地中心部の雨水処理対策については、平成八年度に今石動町雨水ポンプ場が稼働し、ポンプによる強制排水が可能となったことから、豪雨等により小矢部川の水位が上昇した際に発生していた国道四七一号本町JR高架下や市道千歩島線西福町JR高架下における道路冠水等の浸水被害は解消されたと認識している。今後とも、市街地の進展等の現状把握や計画諸条件の見直し等を考慮して、浸水対策に努めたい。

◎第六次総合計画後期実施計画の策定方針について
質問 後期実施計画の柱となる主要施策及び重要施策等の取組について、指針と方向性を伺う。

答弁 道路整備は非常に重要な課題であると考えている。重点課題をはじめ、機会を捉えて、国、県関係機関に対して強く要望しているところであり、引き続き要望を重ねていきたい。

質問 地元商店・企業の出店について、市内の商店や企業が元気になるような交渉が必要ではないか。

質問 深夜や担当者不在時等に災害が発生した場合の行政の対処のあり方をどのように考えるか。今後の体制づくりや整備についての見解を伺う。

答弁 各種気象警報の発表時、また地震発生時には、地域防災計画において、警報や地震のレベルごとに配備の時期、体制を定めている。また、各課内では、複数職員による当番制の班編成を行っており、災害業務担当者が不在の場合

答弁 三井不動産の発表内容に、地元飲食店や地産地消の要素を取り入れた店舗の出店を検討しているところから、本市としても、商店・企業の活性化のため、アウトレットパークへの出店が実現されるよう交渉を進めていきたい。

質問 これから進むべき「小矢部型農業」の構築について考え方を伺う。

答弁 深夜や担当者不在時等に災害が発生した場合の行政の対処のあり方をどのように考えるか。今後の体制づくりや整備についての見解を伺う。

答弁 方向性としては、①都市機能の充実として、石動駅周辺整備事業を着実に進めるとともに、新たな公共施設のあり方を視野に入れた整備を行うこと②アウトレットパークの進出を見据えた事業の展開を図ること③道路等の交通基盤施設や公園・上下水道等の生活基盤施設について長寿命化の視点により整備を進めること④子育て支援や企業立地の推進等により人口増加対策に取り組むこととして

◎今後の小矢部型農業のあり方について
質問 小矢部ブランド確立に向けた取組について、メルヘン米の品質向上のため、等級低下の原因を調査し、把握することが必要だと考えている。今後の作付割合や栽

答弁 米の生産調整の見直しにより主食用米の作付増加が危惧されるが、大豆、麦、ハトムギも主要な転作物であることから、国の産地資金交付金と市単独助成を組み合わせ、地域特産物の定着に向けて支援する必要がある。また、養鶏から発生する発酵鶏糞を活用した循環型農業の推進により、米の価格下落に打ち勝つ高品質な米づくりを支援していきたい。

代表質問

- ◎アウトレットパーク誘致による市の活性化について
- ◎石動駅の拡充と周辺整備について
- ◎防火・防災対策及び減災対策について
- ◎少子化対策・元気な高齢者対策について
- ◎適応指導教室の充実について

小矢部市民の会
嶋田 幸恵 議員



◎アウトレットパーク誘致による市の活性化について

質問 行政視察先の倉敷市では、「おもてなしマイスター制度」を導入していた。本市においても「オール小矢部でお迎えする」、「オール小矢部でおもてなしをする」という気運を高めていくべきではないか。

答弁 観光客の受入態勢整備を推進する上で、市民のおもてなしマインドの醸成は欠かすことができない。観光協会では、観光事業者を対象に、おもてなし講座を年三回から五回開催しているほか、市民の観光への関心を高める取組として、本市に関する問題を解く「小矢部市観光うでだめし」や観光情報を広く伝える「観光サポーター制度」を導入している。また、本年度は「おもてなし教本」を作成することとしている。今後とも、観光協会と協力しながら、まずは、観光客への市民のおもてなしマインドの醸成に取り組んでいきたい。

質問 石動駅のエレベーター設置工事が実施されるが、事故が起きないよう対応願いたい。

答弁 石動駅のバリアフリー化工事は、エレベーター付きの新設跨線橋、駅舎スロープや出入口の改

良、警告誘導ブロックの設置、既設跨線橋の二段手摺り化等を施工するもので、平成二十五年度末の完成を目指している。駅利用者が駅舎を利用する中での工事となるため、工事期間中は安全確保が第一である。施工業者が安全対策を講じているところであるが、発注者の西日本旅客鉄道株式会社に對しても安全対策を要請したい。

◎防火・防災対策及び減災対策について

質問 幼少期からの防災教育が必要である。市総合防災訓練に児童生徒の参加を求めたり、地域行事や運動会に防災競技を取り入れることなどを指導してはどうか。見解を伺う。

答弁 市総合防災訓練の参加については、これまで、小中学校や保育所に開催の周知を行っていたところであるが、今後は、訓練内容に親子で参加できるものに加え、など工夫をするとともに、PTAや保護者会を通じて、積極的な参加を要請していきたい。防災教育については、小中学校では、年四回程度の避難訓練を実施しているほか、五学年と六学年の理科の授業の中で、学習指導要領に基づき、地震、地層、地すべり等の災害に関する学習を行っている。また、石動小学校の六学年では、毎

年「砂防教室」を実施し、地すべり施設の見学や機器を使つての観測体験等を行うことにより理解を深めている。本年九月三日に実施した一斉訓練「シェイクアウト*」には、小中学校の職員・児童生徒など約二千五百人が参加し、児童生徒からは「地震発生時にその場で身の安全を確保する大切さを感じた」との感想が寄せられている。今後とも、学校教育の場での防災意識の高揚に努めたい。

◎少子化対策・元気な高齢者対策について

質問 中学校に冷房設備が整備され、学力がアップしている。小学校についても学べる環境の整備が必要であり、教育の場に格差があつてはならないと考えるが、当局の見解を伺う。

答弁 小学校のエアコン設置については、大谷小学校と東部小学校において、今年度の大規模改修工事の施工に当たり、既存の暖房設備の改修が必要になったことから、エアコンを設置した。その他の三小学校については、現在策定中の第六次総合計画の後期実施計画の中で、教育環境の面から十分検討していきたい。

質問 高齢者が生きがいを感じる施策が急務である。当局の見解を伺う。

答弁 「シルバー人材センター」への支援、社会参加の機会である「老人クラブ活動」への助成、趣味を生かした生きがいづくりのための「老人生きがいセンター」の運営、健康づくりや交流の拠点である「高齢者健康交流センター」の運営のほか、社会福祉協議会が開催するボランティア講座の活用もしている。今後とも、元気な方々が活躍できる場を拡大し、自らの経験と知識を生かしながら、地域社会の一員としての役割を担いつつ、元気で生きがいを実感できる施策を実施していきたい。

◎適応指導教室の充実について

質問 学校に行けない子ども達のパイプ役である適応指導教室を充実してはどうか。当局の見解を伺う。

答弁 教育委員会において、総合会館での出前適応指導教室を開設するとともに、児童生徒・保護者のカウンセリングができるスクールカウンセラーや不登校児童生徒の家庭を支援するスクールソーシャルワーカーの派遣回数を増加させるなど、学校や家庭との連携を図りながら、それぞれの児童生徒に応じた支援ができるよう対応していきたい。

代表質問

*用語解説
「シェイクアウト」……「地震を吹き飛ばせ」という意味の造語。「まず低く、頭を守り、動かない」という身の安全を守るための統一行動への一斉参加を呼びかける新しい形の地震防災訓練。

- ◎水害の原因と浸水対策について
- ◎アパート事業者に対する助成制度の創設について
- ◎アウトレットモール開業に向けての取組について

白井 同志会
中 議員



◎水害の原因と浸水対策について
質問 最近、浸水被害が頻繁に発生している。浸水被害の原因はどこにあるのか。また、浸水対策はどのようなになっているか。

答弁 頻発する局地的な大雨や集中豪雨に加え、都市化の進展による浸透量や保水機能の減少によって河川や排水路に能力以上の負荷がかかっていることが原因だと考えている。対策としては、ハード面では河川改修の整備を順次実施しており、ソフト面では水門管理体制や水防活動体制等の強化が必要だと考えている。

質問 雨水対策について、市街地の中心部等で排水が抜けないなどの浸水対策はどのようにになっているか。

答弁 石動市街地の雨水対策については、平成八年度の今石動町雨水ポンプ場、平成十七年度から二十一年度にかけての後谷雨水幹線、そして平成二十一年度から二十四年度にかけての石動雨水幹線のバイパス水路の整備等により浸水被害の低減に取り組んできた。今後とも計画的な整備により浸水対策の充実を図りたい。

◎共同賃貸住宅（アパート）事業者に対する助成制度の創設について

質問 現在、アパートの入居者に

代表質問

に対する助成制度はあるが、アパート事業者に対しては、一定の要件を満たした場合の固定資産税の軽減しか優遇措置がない。アウトレットモールのオープンにより、アパート需要が高まると考えられることから、定住促進の観点からも事業者向けの助成制度の創設を検討してはどうか。

答弁 本市では、平成二十二年年度から、転入等による民間賃貸住宅の入居者に対して家賃の一部を助成しているが、この制度は、他市町村に比べて安価に賃貸住宅を提供することができるため、賃貸住宅の事業者にとってもメリットがある施策だと考えている。今後は、賃貸住宅の事業者に対する助成制度のあり方も含め、宅地建物取引協会等の関係者の意見も聞きながら調査研究していきたい。

質問 市営アパートの今後の取組について、どのように考えているか。

答弁 今年度、市営住宅の適正管理や計画的な修繕等を目的とした「市営住宅長寿命化計画」を策定しているところであり、この計画に基づく「公営住宅等ストック改善事業」に取り組むことで、既存ストックの有効活用や住環境の整備に努めていきたい。

◎アウトレットモール開業に向けての取組について

質問 開業からしばらくの間は、県内外から大勢の来場者が押し寄せることが予想される。交通渋滞緩和策の取組について伺う。

答弁 現在、国道八号の四車線化や県営街路事業による道路改良について、アウトレットモール開業までに整備していただくよう関係機関に強く要望している。また、開発事業者は、交通誘導や周辺的生活道路への誤進入防止対策に関する十分なノウハウを有しているため、今後、具体的な対応について要請していきたい。

質問 外国人来場者の受入態勢については、おもてなしや接遇、観光案内板の外国語表記等の取組が大切だと思うが、当局の見解を伺う。

答弁 国民性や宗教の違いなど外国人観光客の習慣を知るとともに、簡単な外国語による会話が可能となるよう、今年度「おもてなし教本」を作成することとしている。また、観光案内板については県の補助金を活用して外国語を併記したものに整備を進めており、パンフレットについては改訂の際に中国語や韓国語等の外国語併記を検討していきたい。

質問 市街地の商店街の空き店舗

を利活用して、現代アートを展示する取組を検討してはどうか。また、今後、「アートの街」を目指していく考えはあるか。当局の見解を伺う。

答弁 まちづくりには、地域の歴史、伝統文化、気候などの地域固有の風土などに合致し、かつ、ストーリー性が必要ではないかと考えている。今後、商工会や空き店舗の所有者の意向も聞きながら、「訪ねてみたい、歩いてみたいまちづくり」に向けて、空き店舗の活用策も含め検討したい。

質問 行政視察先において、アウトレットモールの雇用は、正規社員がわずかであり、ほとんどが非正規社員で短時間勤務のスタッフであると聞いている。このような雇用スタイルを希望する人が本当に集まるのか。雇用の増加は、市の活性化には欠かせないが、この問題をどのようにクリアして、活路を見出していくのか。

答弁 募集人員に見合った人材確保対応策については、これまでハローワークへ事前に相談を行っている。今後、出店テナントが具体化してきた時点において、開発事業者とも協議のうえ、合同企業説明会の開催等について要請していきたい。

- ◎特定秘密保護法について
- ◎国民健康保険税の引き下げについて
- ◎アウトレットパークについて
- ◎公共下水道計画の抜本的な見直しについて

砂田 喜昭 議員



【質問】 安倍内閣と自民党・公明党が強行して成立させた特定秘密保護法は違憲立法であり、廃止すべきであると考えるが、見解を伺う。

【答弁】 この法律に対しては、成立後の今も賛否両論あり、特定秘密のチェック機関や国民の知る権利が担保されるのかなど問題も指摘されている。ただ、防衛上の秘密はしっかり守っていく必要がある。今後の一年間で運用のルールが厳格に定められるものと考えている。

【質問】 共産党が十一月から始めたアンケートによると、国民健康保険税の引き下げを求める声が三十六パーセントを占めている。下水道事業特別会計等には、一般会計から六億円を超える繰入をして赤字分を穴埋めしている。国民健康保険事業特別会計では約八十世帯分の国保税最高限度額を五十一万円に抑え、その財源を約四千世帯の国保加入者に負担させている。せめてこの分を、一般会計からの法定外繰入で軽減できないか。

【答弁】 国民健康保険は社会保険制度であり、まず加入者に応分の負担をしていただくことが大事だと考えている。一般会計からの法定

外繰入により国保税を引き下げることは、現時点では、市民の理解を得ることが困難だと考えている。

【質問】 アウトレットについて、三十年という契約期間の中で中途解約されるリスクは極めて少ないとの答弁があったが、不安を払拭するために、基本合意を見直し、この旨を明記するべきではないか。

【答弁】 開発事業者は、本市への進出に当たり市場調査や事業採算性について十分検討したうえで多額の投資を計画している。基本合意については、締結した時点と現時点でそれほど大きな変化があったとは言えないため、現時点での変更は現実的ではないと考えている。

【質問】 現在の下水道計画は、下水道方式と浄化槽方式の費用対効果のコスト比較に問題があり、抜本的な見直しが必要である。また、過去実施されたアンケートによると、未整備地区に下水道を整備しても、約七割の住民がすぐに接続する意思がないとされている。市設置型の浄化槽方式に切り替えて、早期の普及を図るべきではないか。

【答弁】 整備手法の見直しについては、来年度実施するアンケート調査の結果等を踏まえて検討したい。

一般質問

請願・陳情の処理状況

次のとおり、請願・陳情の処理を行いました。

受理番号	件名(請願・陳情者)	審査結果
請願第6号	特定秘密保護法案の廃案を求める意見書採択を求める請願 (秘密保護法案に反対するアピール呼びかけ人代表 土井由三 他3名)	不採択
請願第7号	政府のコメ政策転換についての意見書提出を求める請願 (農民運動富山県連合会小矢部班 代表 辻 慶輝)	不採択
陳情第6号	小矢部市観光協会に対する財政的支援について陳情 (小矢部市観光協会 会長 中嶋秀明)	採 択
陳情第7号	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情書 (公益財団法人 認知症の人と家族の会 富山県支部代表 村井和恵)	保 留
陳情第8号	社会福祉事業に関する陳情書 (社会福祉法人 小矢部市社会福祉協議会 会長 宇佐見外行)	採 択

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。



小矢部市議場

委員会報告

委員会の審査の過程で、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

第一に、職員の定員管理については、これまで適正化に積極的に取り組み、限られた職員数により専門化・高度化する様々な行政ニーズへの対応を図ってきたが、今後の市政運営を的確に進めていくためには、職員がレベルアップするため

の長期研修に参加できるように、人員配置を十分考慮した定員管理計画とすること。また、将来、アウトレット事業により交流人口が年間三百万人になるといわれていることもあり、職員のおもてなしの接遇研修にも積極的に取り組むこと。

第二に、空き家対策について、近年、人口減少や高齢化の進展等により、管理されない空き家が増加している。そのような空き家に起因し、倒壊のおそれ等の防災面、街並みが歯抜けになる等の景観上の支障、雑草の繁茂、ゴミの不法投棄等の衛生上の問題や不審者の出没等の防犯上の問題の発生が危惧されている。

このことから、国、県、県内自治体の情報を収集し、所有者に対

し空き家の除去、修繕、適正管理を求める取り組みや有効活用を支援するなどの条例化を視野に入れた早急な検討、対策を図ること。

第三に、防災関係において、市民の安全・安心のためには公共の建物だけではなく、個人住宅の耐震化が重要になつてきていることから、個人住宅の耐震化促進が図られるよう事業の実効性を高める方策を積極的に講じること。

第四に、観光推進に関し、北陸新幹線開業やアウトレットモール開業に向け、誘客強化のための魅力ある観光パンフレットやポスターを作成し、有効な配布掲示に努めるとともにシンボルキャラクターの育成・活用等により観光客受入態勢の充実を図ること。

第五に、下水道計画の見直しについては、本格的な取り組みが必要であり、下水道事業特別会計の財政全体に、また利用者である市民の使用料についても、将来的に大きな負担を与える可能性がある。したがって、人口減少等の社会情勢の変化や、合併処理浄化槽との経済性比較などを踏まえ、選択と集中による社会資本整備や既存ストックの有効活用といった考え方に基づき、生活の基本となる下水道や合併浄化槽の整備と維持運営に努め、次の世代に引き継ぐことのできる持続可能な郷土づくりを進

めること。

第六に、国民健康保険事業については、市民が健康で過ごせるよう疾病の早期発見・早期予防のため、特定健診等健康診査の周知を図り、関係機関との連携のもと積極的な健康増進対策事業の展開を図ること。また、健全財政を維持するために徴収率のさらなる向上を図ること。

総務常任委員会

一点目は、二十五年度の予算執行について、これから年度末に向けて精査する時期を迎えるが、適確な執行が行われているか、総括的に確認しながら進めること。

特に、公共事業の急増で人材や資機材が不足しているなか、事業の発注については、できるだけ標準化し、執行すること。

二点目は、ふるさと納税について、インターネット等の媒体を利用して、全国的に「小矢部市」を広く周知し、新たに寄附して頂けるよう促進を図ること。継続して支援して頂いている方々には、今後も協力してもらうため、「ふるさと小矢部」の魅力を伝え続けること。

三点目は、現在、防災行政無線システム整備工事及び防災備蓄倉庫整備工事が行われ、より早く初

期防災体制をとることができるようになるが、設置後の運用・管理について明確にし、災害により強いまちづくりを行うこと。

産業建設常任委員会

一点目は、災害対策について、本市では、国県の補助制度の対象とならない比較的小規模な自然災害についても、市単独事業での助成措置を講じており、評価することができる。

今年度は、集中豪雨や大雨等により自然災害が多数発生している。中山間地域において災害が発生した場合には、山村地域の荒廃を防ぐ観点からも、早急に対応すること。

二点目は、石動駅周辺整備について、当委員会に整備事業の概要が示されたが、鉄道利用者や併設施設の利用者の利便性が高まるよう十分に検討するとともに、まちの顔である石動駅の機能強化を図ること。

三点目は、農業政策について、来年度から、米の直接支払交付金が半減となる一方で、飼料用米等の生産に係る交付金については、収量に応じた助成措置に切り替わりと報道されている。そのため、国や県、農業団体や農業者等と連携しながら、本市の飼料用米等の需要と供

給の状況を適確に把握するとともに、保管や流通等の諸課題について協議検討し、早急に農業者に情報提供を行うこと。

また、今夏の猛暑等の影響により、平成二十五年産米の一等米比率が低下したこと、来年の生産に向けて、国や県、農業団体等と対策を協議検討し、農業者に適切な指導を行うこと。

四点目は、下水道事業について、下水道の接続率向上に結び付く効果的な施策として、実効性のある助成制度の創設を検討すること。

民生文教常任委員会

一点目、議会は、住民に対する行政サービスの提供の最終決定者であることから、市と議会は、小矢部市の発展、住民福祉の向上のためにアイデア、知恵を出し合い、お互いに協調していく必要がある。

今回の議案となった工事請負契約の変更については、当初設計段階においての施工方法や数量のチェックの必要性を再認識させられた案件であったことから、公共事業の設計及び工事施工に関しては、計画的な工事発注と綿密な設計、施工管理等に努め、事業進捗に支障が生じないよう進めること。

二点目は、美術活動拠点施設運

営設備等検討委員会より提出された中間報告は、今後の小矢部市民の美術活動の拠点となる重要な施設の報告である。開館後の管理運営が効率よく一体的にでき、利用者にとっても利便性の高い文化施設となるために、クロスランドセンターと当施設を雨天でも行き来できるような通路の設置が必要と思われる。

また、当検討委員会で施設運営の要となる職員（学芸員相当）の配置を含めた具体的な運営内容等を検討するとともに、平成二十七年春の開館に向け、市民に広く開かれた新しい時代にふさわしい施設となるよう事業を進めること。

平成25年度 議長交際費支出状況

平成25年4月～平成25年11月分 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	10	151,489
① 御祝・寸志	4	51,489
② 餞別	3	70,000
③ 香典・供物	3	30,000
2 協賛費	16	63,720
3 会費・懇談会費	19	161,650
4 その他	22	178,700
合計	67	555,559
平成25年度予算額		1,400,000
執行率		39.68%

※小矢部市ホームページからもご覧になれます。

3月定例会の日程

太字はCATVの放送予定
網掛けは本会議録画映像の
インターネット配信予定

3日(月) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

4日(火) 10時 全員協議会

5日(水) 10時 全員協議会

6日(木) 議案調査日

7日(金) 議案調査日

10日(月) 9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

11日(火) 10時 本会議(一般質問)

12日(水) 10時 予算特別委員会

13日(木) 10時 予算特別委員会

14日(金) 10時 予算特別委員会

17日(月) 14時 民生文教常任委員会

18日(火) 14時 産業建設常任委員会

19日(水) 14時 総務常任委員会

20日(木) 10時 東部産業団地等特別委員会

14時 委員長会議

24日(月) 10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

市外からの行政視察

平成25年9月26日から平成25年12月5日まで (6件 40名)

年月日	視察者	視察項目	人数
25. 10. 22	埼玉県深谷市議会 (会派)	・アウトレットモール誘致について	7人
10. 23	北海道深川市議会 (社会民生常任委員会)	・介護高齢者福祉について	5人
10. 30	愛知県大府市議会 (総務常任委員会)	・防災対策全般について	7人
11. 13	京都府舞鶴市議会 (会派)	・女性消防団活動への取組について	10人
11. 15	新潟県加茂市議会 (会派)	・議員定数、議会運営の状況について ・議会インターネット中継、会議録検索システム導入の 経緯及び運営状況について	3人
11. 26	岐阜県美濃加茂市議会 (議会行政改革特別委員会)	・議会改革について	8人

■ 会務報告

平成 25 年 9 月 26 日から平成 25 年 12 月 5 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
25. 10. 2	富山県市議会議員研修会	・記念講演	富山市
10. 9～11	決算特別委員会	・認定第1号平成24年度小矢部市一般会計歳入歳出決算～認定第7号平成24年度小矢部市水道事業会計決算審査	第二委員会室
10. 15	正副議長研修会	・研修会 ・視察	魚津市
10. 16	おやべ・ひみ・たかおかビジネス交流交歓会 in 東京	・第1部 セミナー ・第2部 交流交歓会	東京都
10. 16～17	副議長新任あいさつ回り	・県選出国会議員等	東京都
10. 18	利賀ダム建設促進期成同盟会現地視察	・利賀ダム建設地視察	南砺市
10. 21～26	日中友好富山県地方議員連盟第20回訪中団派遣	・中国人民対外友好協会、中日友好協会、中国民用航空局、日本大使館、遼寧省政府、中国南方航空大連支社、富山県大連事務所等	大連、瀋陽、北京
10. 24	全員協議会 小矢部市・津幡町議員親善交流会	・富山県情報システム共同利用推進協議会への不参加について等2件報告 ・ニュースポーツ交流	第一委員会室 農村環境改善センター
10. 25	議会だより編集委員会	・議会だよりNO.171について	第二委員会室
10. 28	砺波地方介護保険組合議会 10月臨時会 (議会運営委員会、全員協議会)	・砺波地方介護保険組合監査委員の選任について	砺波市
10. 29	民生文教常任委員会 砺波地域消防組合議会運営委員会	・平成26年度おやべ型1%まちづくり事業の募集について報告 ・現地調査(大谷小・東部小) ・臨時会提出議案について	第二委員会室 現地 砺波市
10. 31	小矢部市・津幡町合同提言活動(国交省富山河川国道事務所)	・一般国道8号「俱利伽羅トンネル」の整備促進について ・一般国道8号4車線化事業の整備促進について 桜町西～芹川東間(小矢部市) 九折～舟橋間(津幡町)	富山市
11. 5	産業建設常任委員会 総務常任委員会 小矢部市・津幡町合同提言活動(北陸地方整備局)	・平成25年度除雪計画について報告 ・現地調査(一般国道8号、都市計画道路寄島西中野線、道の駅) ・小矢部市・嵐山町災害時における相互応援に関する協定について報告 ・一般国道8号の整備促進について	第二委員会室 現地 第二委員会室 新潟市
11. 6	産業建設常任委員会	・小矢部市商工会との意見交換	特別会議室
11. 7～8	東部産業団地等特別委員会行政視察	・アウトレットパーク倉敷の誘致等について ・アウトレットパーク倉敷の開業に伴う影響等について ・「三井ショッピングパークららぽーと磐田」誘致に係る行政の関与について ・アウトレットパーク入間の開設に至る経過と現状について	岡山県倉敷市 静岡県磐田市 埼玉県入間市
11. 7	小矢部市・津幡町合同提言活動(国土交通省及び富山県・石川県選出国会議員)	・一般国道8号の整備促進について	東京都
11. 11	砺波地方介護保険組合議会行政視察	・グループホーム小規模多機能型居宅介護施設	南砺市
11. 12	砺波地域消防組合議会臨時会 (議会運営委員会)	・一般会計補正予算(第2号)及び報告第2号専決処分報告について	砺波市
11. 13～15	「立山の塔」慰霊行事	・「立山の塔」慰霊祭 ・平和の礎・平和記念資料館等巡拝	沖縄県糸満市
11. 18	東部産業団地等特別委員会	・都市計画道路寄島西中野線の変更(案)について等3件報告 ・行政視察報告	第一委員会室
11. 19	富山県日韓友好議員連盟	・特別講演及び交流会	金沢市
11. 20	全国市議会議長会社会文教委員会	・要望書(案)について ・実行運動の方法について等	東京都
11. 22	全員協議会	・小矢部市行政改革推進市民会議意見書の提出について等3件報告	第一委員会室
11. 28	金沢・小矢部連絡会 議会運営委員会	・決算報告及び予算案について ・両市の交流事業について ・12月定例会提出議案について等	金沢市 第二委員会室

編集後記

平成26年は、第六次総合計画後期実施計画の初年度に当たるとともに、間近に迫った北陸新幹線の開業や北陸初となるアウトレットモール「三井アウトレットパーク北陸小矢部(仮称)」の開業に向けて、ハード・ソフトの両面から、様々な準備が必要となる極めて重要な1年であります。

交流人口の増加や地域経済の活性化、加えて本市の知名度向上が期待されるこれらの好機を、確実に活かしていかなければなりません。

市議会といたしましては、市当局と一丸となり、また山積する諸課題にはしっかりと議論を尽くして、市民ニーズを的確に捉えた各種施策を着実に推進していく必要があると考えています。

次回の「議会だより」は、平成26年5月の予定です。
(議会だより編集委員一同)